

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

飛鳥の地域で生きる喜びを感じる子どもが育つこと。そのために、地域と学校がより密につながる場と機会をつくり、これまで以上に地域で子どもを育む環境を整えること。また、地域の土台となる家庭を支え、地域の中で教師が育ち、学校と関わる地域人材が育つこと。

【今年度の取組紹介】

夏休みに、小中の教員と学校運営協議会の方々と、「地域と連携した学校教育の可能性～行事や活動再開に向けて～」をテーマに熟議を行い、教員が学校での教育活動を推進する上で地域に協力してほしいことなどについて話し合いました。地域の方々にも学校の実態や教員の思いなどを共有していただける機会となりました。



11月3日(金)に飛鳥小学校にて開催された「あすかフェスティバル」では、吹奏楽部やアートパフォーマンス部が日ごろの成果を発表したり、中学生の有志が歌や特技などを披露しました。また、中学生がヨーヨー釣りやコイン落としなどの模擬店の運営に携わり、たくさんの地域の方に楽しんでいただくことができました。さらに、保健給食委員会は防災や防災食などについて調べたことを展示発表し、地域の方々の防災意識の向上に寄与しました。中学生が地域と協働した一日となりました。



【今年度のまとめ】

『子どもたちの笑顔のために』をスローガンにした【熟議】を行うことで、地域・小中学校が一体となって、子どもたちの自主性や達成感を育むための教育活動の創造に結びつけることができました。このような、「子どもたちのためにできることを地域と学校が共に考え、改めて地域の宝である子どもたちにつけたい力」について考える時間や「地域を知り、地域を愛し、地域に誇りを持って、健やかに子どもたちが育つような方策」を考える時間を持てたことは、大変有意義でありがたいことです。

【来年度に向けて】

今後も「地域に誇りを持ち、地域を大切にする子どもたちを育てていくこと」「子どもたちが自ら考え、主体的に行動できる活動をする事」を大切に、地域・学校・保護者が協働・連携していきたいと考えます。そして、支えてくれる地域の方がいる中で、子どもたちがいきいきと活動し、地域の大人も子どももお互いが支え合い、大切に思いあえる関係づくりの構築につなげていきたいと思っています。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にする心をもち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

自分を知り、自己の考えを育て、それを皆の前で表現し、行動できる力を育てる

【今年度の取組紹介】

今年度7年目を迎える「あすかスタディ・サポート（放課後学習教室）」では、火曜日やテスト1週間前の放課後に、地域ボランティアや奈良教育大学生が学習支援を行いました。図書室の整備等にもご尽力いただきました。

また、各方面で活躍されている方をお迎えし、講演をしていただく「スペシャリスト講演会」を今年度も開催しました。今年は女子車いすバスケットボールの北間優衣選手にお越しいただき、目標を自分で決めることの大切さやコミュニケーションの重要性についてお話をいただきました。また、どうすればだれもが生活しやすい環境になるのかを考えること、目に見えるものがすべてではないこと、などについても教えていただきました。講演後は生徒も車いすに乗ってバスケットボールを体験しました。北間選手とのゲームを通じた交流は、生徒たちの心に残るものでした。



さらに、今年度も地域の方々に中学3年生の模擬面接にご協力いただきました。地域の方々に生徒の様子を知っていただくとともに、問題解決力や組織的行動能力など、生徒たちが今、身に付けておきたい力などについて丁寧にアドバイスをいただきました。生徒たちには、地域の方々に見守り、育まれていることを実感する機会になりました。

今年度より、地域で活動されている和太鼓や日本舞踊などの各種団体に、中学生が部活動の一環として参加できるよう受け入れていただいています。生徒にとっては地域の方々とつながる場、学校にない活動を体験できる貴重な機会になっています。



【今年度のまとめ】

学校行事やキャリア教育において、地域との協働や連携を図りつつ、活動に取り組むことができました。生徒たちも地域の方々が学校生活をサポートしてくださっていることを肌で感じており、生徒会長が40周年記念事業のプログラムに「見守ってくださる地域の方々への感謝を忘れず、この一日を過ごしましょう」と記していたのは、その表れであると思います。

【来年度に向けて】

今年も「地域の中で、地域の方と共に自ら考え主体的に取り組む」ことをテーマに取り組んできました。その基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」「確かな学力」の育成に向けて、これからもコーディネーターと教職員が連携し、地域行事や学校行事での地域との協働を深化させつつ、生徒の学力支援や探求的な学習活動の開発などにも取り組んでいきたいと思っています。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にする心を持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気づき地域を大切にしようとする意識を育てる。

【今年度の取組紹介】

今年度は、新型コロナウイルス感染症が第5類となったことから、様々な行事を行うことが可能になりました。また、今年度は、本校が創立150周年を迎える記念すべき1年であったことから、地域との関係もより密に取組を推進する必要がありました。

まず、地域の方に、「ならまち探検」や「世界遺産学習」など、校外活動の支援を行っていただきました。本校は歩いてすぐの場所に東大寺や興福寺などの多くの世界遺産があることから、地域の方と共に、充実した貴重な時間を過ごすことができました。

次に、調理や裁縫の授業サポートも行っていました。家庭で調理や裁縫を行う児童が少なくなっていることから、非常にありがたかったです。

創立150周年の記念式典の日の午後には、地域の方が主催して、飛鳥の集いを行い、多くの近隣の方も来校され盛大にお祝いをすることができました。

最後に、年度末に、地域ありがとうプロジェクトとして、日々の登下校見守りや上記の対応をいただいた多くの方を本校にお招きして、子ども達から、歌や花のプレゼントを行い、喜んでいただきました。

以上のように、今年度も地域の方と共に有意義な1年を過ごさせていただきました。



【今年度のまとめ】

今年度は、新型コロナウイルス対応が、変化したことから、地域の方との多くの行事を行うことができました。上記には、今年度の取組の一部を紹介したが、他にも本校を会場にした地域主催の「飛鳥フェスティバル」や、本校1年生を対象とした「昔遊び」など、地域の方と共に、新たな飛鳥校区の伝統を再構築していく1年となりました。その中で、今後の教職員の「働き方改革」を含め、持続可能な体制を模索していく足がかりとなりました。

【来年度に向けて】

今年度1年間を経験することで、様々な課題が見えました。何事も、具体的にを行うことで、もったいなくすれば良いのではないかなどの課題が明確になるため、今年度は、その課題を検討していく初年度となりました。日程的なことや内容的なことなど、地域の方と共に、飛鳥校区の子どもたちをどのように育てていくかを、今後も、検討していきたいです。